

1 入退場と受付

- (1) 参加者はメインスタンド入場口にて「施設利用に係る自己体調管理チェックリスト」を提出する。
- (2) 役員受付、プロ配布（販売）所に消毒液配置する。
- (3) 役員、補助員も原則マスクを着用する。（当日、役員受付時、若干の予備マスク準備）
施設利用に係る自己体調管理チェックリストや事前連絡は委嘱状と送付して、当日、役員受付時に回収する。

2 競技に関する対策

- (1) 招集場所は競技場正面入り口前の駐車場に2カ所設置する（テントを設置する）。出場する競技者は自分で○をつけて競技役員にて競技場所で確認する。腰ナンバーは各自がとっていく。
現地にて出発係が最終コールをする。トラックは2～3組単位で距離を取って（2m）整列させる。
- (2) 競技中と W-Up 時はマスクをしなくてもよいが、待機中はマスクを着用するよう指導する。
- (3) 競技中にはツバやタンを吐かないように競技開始前に注意する。
- (4) 競技終了後は速やかに手洗い、うがい、洗顔をするように促す。

3 競技外の対策

- (1) 役員室、放送室、記録室などは、換気のため常時窓や出入口を開放しておく。
- (2) 大声での応援は禁止する。スタンドにおいても適度な距離とマスク着用を呼びかける。
- (3) 更衣室の滞在は必要最小限の時間にしよう呼びかける。シャワー室は使用禁止。
- (4) 定期的にトイレやドアノブなどの消毒をする。またトランシーバーや手旗はできるだけ共用をさげ、共用する場合は必ず前後に手指、機器を消毒する。
- (5) ゴミの各自持ち帰りを呼びかける。
- (6) 事前事後のミーティングや反省会は自粛するよう要請する。
- (7) 競技終了後は速やかに退場、帰宅し手洗い、うがい、洗顔、消毒をするよう呼びかける。